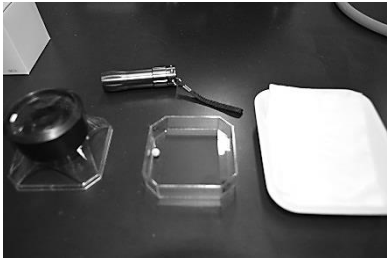
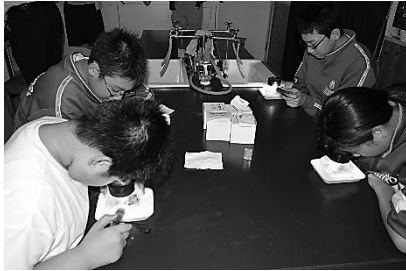




(様式1)

平成28年度放射線等に関する教育研修協議資料

学校名	〈中 16〉 いわき市立 小白井中学校
<実施日>	①平成 27年 9月 2日 (水) ②平成 28年 7月15日 (金)
<実践教科等>	※当てはまる番号に○を付けてください。4は () に教科等を入れてください。 1 理科 (2) 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ()
<実践内容>	①福島高専の出前授業による桐箱の観察 ・ 1人1個の桐箱装置で放射線の飛跡を観察した。   ②パワーポイントを用いた放射線についての説明 ・ 放射線の利用と身の回りにおける放射線 ・ 放射線の種類と特徴 (α線、β線、ガンマ線) ・ 放射線による体への影響 (DNAへの影響) ・ これからの生活と放射線の利用 (発電、医療、新素材の開発)  
<成果>	中3の理科で原子の構造についてふれるため、放射線の一つである原子核や電子についての説明も理解できていたように見えた。また、「放射線が体に及ぼす影響」についても、中3理科において遺伝子について学習するため、既習内容と関連づけて理解させることができた。生徒の感想からは放射線は身のまわりにありふれていることや医療や新素材の開発に利用されていることなどがわかり、放射線に対する見方や考え方が変わったことが伺えた。
<課題>	放射線教育を行うにあたり、教職員の放射線に対する研修・理解がまだまだ不十分である。昨年度は福島高専の出前授業を活用したが、専門家の授業ということもあり、子供達にも好評だった。子ども達の放射線に対する理解、並びに教職員の研修のためにも関連機関との連携が必要であると考えられる。

【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)